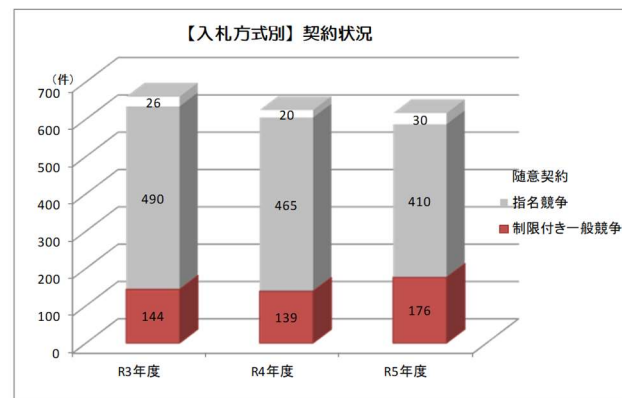
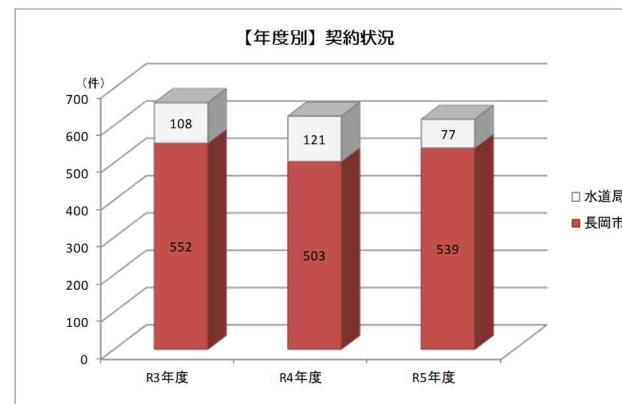


令和5年度公共工事契約状況

契約状況について

(単位：件)

	R3年度	R4年度	R5年度
長岡市	552	503	539
制限付き一般競争	107	103	141
指名競争	426	387	374
随意契約	19	13	24
水道局	108	121	77
制限付き一般競争	37	36	35
指名競争	64	78	36
随意契約	7	7	6
合 計	660	624	616
制限付き一般競争	144	139	176
指名競争	490	465	410
随意契約	26	20	30



<契約状況の推移>

令和3年度の随意契約が多い要因は、再度入札まで行い不調となった工事が17件発生したためです。

令和4年度の長岡市発注の指名競争入札の件数が減少した要因は、建築一式と管の発注が減ったためです。

令和4年度の水道局発注の指名競争入札の件数が増加した要因は、電気工事の発注が増えたためです。

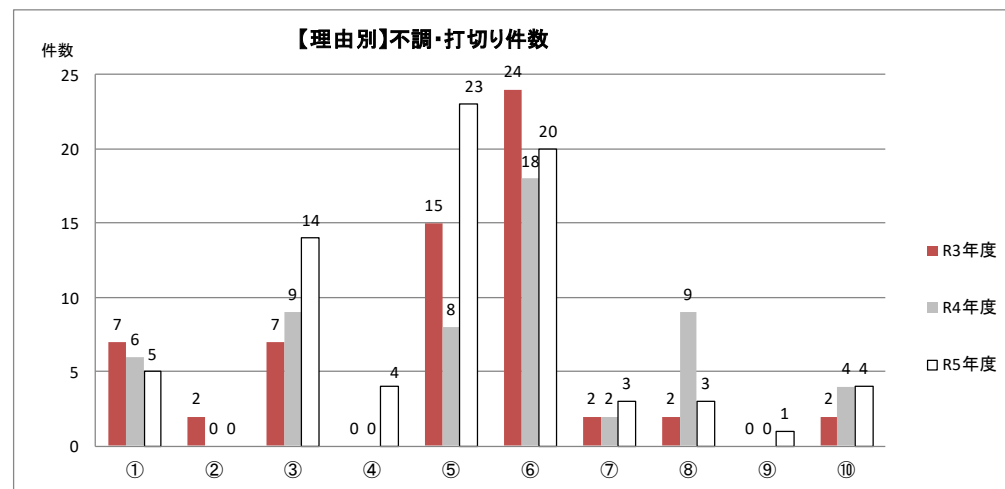
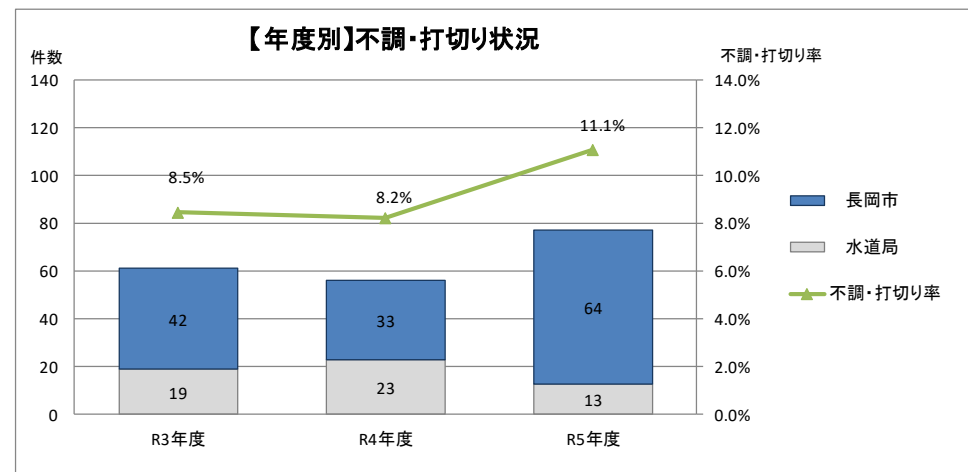
令和5年度の随意契約が多い要因は、再度入札まで行い不調となった工事が18件発生したためです。

令和5年度の水道局発注の指名競争入札の件数が例年より少ない理由は、今年度に更新する配水管が少ないためです。

入札における不調・打切り状況

(単位:件)

区 分	理由	R3年度	R4年度	R5年度
不 調	① 下限価格以上の価格で入札をした者がいなかったため	7	6	5
	② 再入札での最低入札価格が予定価格を上回り、かつその差額が予定価格の10%に相当する額以内のため、最低入札価格で応札した業者と随意契約協議を行ったが協議不調のため	2	0	0
	③ 再入札において、最低の入札価格が予定価格を上回り、かつ、その差額が予定価格の10%に相当する額を超えたため	7	9	14
	④ 見積もり合わせの結果、予定価格に達しなかったため	0	0	4
打 切 り 取 止 め	⑤ 入札に参加する者がいなかったため	15	8	23
	⑥ 指名競争入札において、入札者が1人となったため	24	18	20
	⑦ 再入札に参加する者がいなかったため	2	2	3
	⑧ 指名競争入札において、再入札者が1人となったため	2	9	3
	⑨ 指名競争入札において、再入札に参加できるものが1人となったため	0	0	1
	⑩ 事務処理誤りのため（入札前の設計・仕様書誤りを含む）	2	4	4
合 計 (a)		61	56	77
長 岡 市		42	33	64
水 道 局		19	23	13
契約件数(随意契約を含む) (b)		660	624	616
不調・打切り率 (a/(a+b))		8.5%	8.2%	11.1%



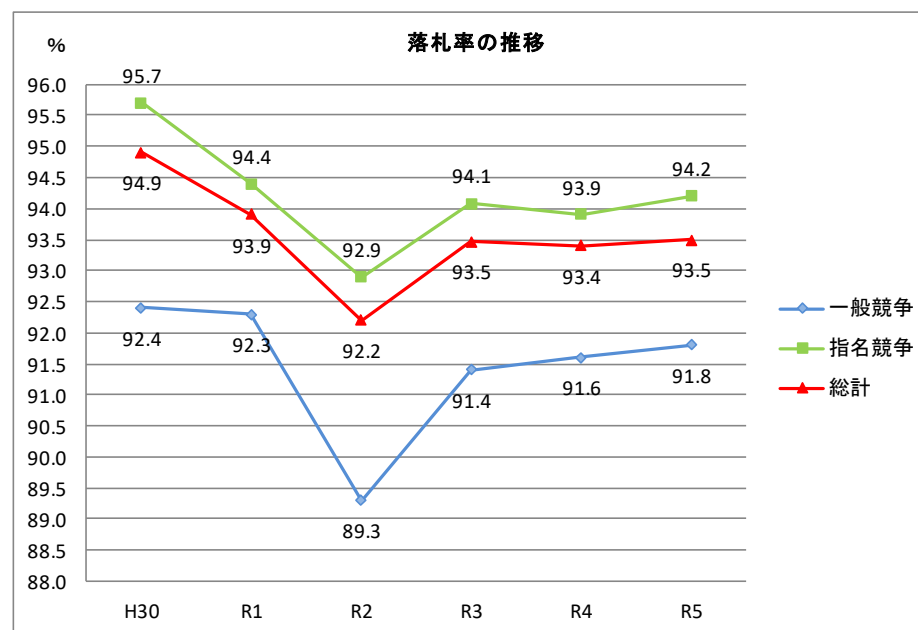
<不調・打切り率の増減理由>

不調・打切り率が増加しているのは、以下の理由が考えられます。

- ・③の件数が多い要因は、市の積算において、見積単価を用いているためと考えられます。
- ・⑤と⑥の件数が多い要因は、技術者不足による入札辞退が多いことが考えられます。

落札率の動向

年度		総計		指名競争入札		一般競争入札	
		件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率
長岡市	30	590	94.9	456	95.7	134	92.3
	元	584	93.9	458	94.4	126	92.0
	2	635	92.4	531	93.0	104	89.6
	3	533	93.6	426	94.0	107	91.7
	4	490	93.6	387	94.0	103	92.3
	5	515	93.7	374	94.3	141	92.0
水道局	30	99	94.6	64	95.5	35	92.9
	元	101	93.9	64	94.5	37	93.0
	2	89	90.6	52	92.3	37	88.3
	3	101	93.0	64	94.4	37	90.6
	4	114	92.5	78	93.7	36	89.7
	5	71	92.1	36	93.4	35	90.6
全体	30	689	94.9	520	95.7	169	92.4
	元	685	93.9	522	94.4	163	92.3
	2	724	92.2	583	92.9	141	89.3
	3	634	93.5	490	94.1	144	91.4
	4	604	93.4	465	93.9	139	91.6
	5	586	93.5	410	94.2	176	91.8



< 落札率の増減理由など >

- 令和2年1月20日に変動型最低制限価格制度を導入したことにより、令和2年度の落札率が低下したと考えられます。
- 令和3年1月から変動型最低制限価格制度における算定式を変更したことにより、令和3年度の落札率が上昇したと考えられます。
- 令和4年3月1日から一般競争入札の土木一式工事で有効入札数が6者以上の場合において、最低制限価格の算定に中央値を適用したが、全体に占める割合が低いため、全体の落札率への影響は見られません。
- 令和5年3月1日から一般競争入札の全ての工種において、有効入札数が6者以上の場合において、最低制限価格の算定に中央値を適用した。中央値を採用した案件の平均落札率は90.5%であったが、平均値を採用した案件の平均落札率は93.0%だったため、合計の落札率は例年並みの数値になりました。

令和5年度 工種別・入札契約方法別の契約件数・金額集計表(R5.4.1～R6.3.31)

工事種別	契 約 件 数				契 約 金 額 (千円)			
		制限付き 一般競争	指名競争	随意契約		制限付き 一般競争	指名競争	随意契約
土木一式	148 (24.0%)	41	106	1	3,106,868 (12.1%)	2,217,981	881,242	7,645
下水道管渠	23 (3.7%)	7	16	0	384,655 (1.5%)	209,297	175,358	0
建築一式	32 (5.2%)	22	7	3	9,919,241 (38.7%)	9,806,293	92,323	20,625
舗装	72 (11.7%)	2	70	0	474,792 (1.9%)	53,240	421,552	0
電気	64 (10.4%)	22	39	3	3,177,841 (12.4%)	2,807,087	342,132	28,622
管	119 (19.4%)	32	77	10	4,614,553 (18.0%)	3,842,142	558,417	213,994
水道施設	5 (0.8%)	3	2	0	820,985 (3.2%)	804,430	16,555	0
その他 (水道管工事を含む)	153 (24.8%)	47	93	13	3,155,494 (12.3%)	2,227,713	693,635	234,146
合計	616 (100.0%)	176	410	30	25,654,429 (100.0%)	21,968,183	3,181,214	505,032
(昨年度)	(624)	(139)	(465)	(20)	(12,448,744)	(8,759,207)	(3,429,769)	(259,768)